

守谷ボランティア NEWS

2022年7月号 (毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
ホームページURL: <https://moriya-cac.org/>
開館時間: 午前10時～午後6時 (午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

ウィンドアンサンブル守谷第19回定期演奏会

3年ぶりに定期演奏会を開催します。子どもから大人まで楽しめる吹奏楽で午後のひとときをお過ごしください。

【指揮】中野和彦【曲目】「あんたがたどこさ」の主題による幻想曲、ウエスト・サイド・ストーリー・セレクション、
ジャパニーズグラフィティ XV II 美空ひばりメドレー

【後援】守谷市教育委員会 取手市教育委員会

【ホームページ】<https://wemoriya.jimdoofree.com>

- 日時 令和4年7月10日(日) 13時30分開場 (14時開演)
- 定員 先着1,000人(入場自由)
- 参加費 無料



情報サイト「守谷ネイチャーライフ」パネル展

「守谷ネイチャーライフ」の活動内容を、より多くの方に知っていただくため写真を展示しました。是非いらしてください。

- 日時 7月10日(日)～30日(土)
- 会場 市民活動支援センター フリースペース
- 問合せ先 <http://moriya-nature.com>



健幸ウォーキングを楽しみませんか

日時	8月23日(火) 9:00～11:00	9月27日(火) 9:00～11:00
集合場所	守谷市役所正面玄関前	立沢公園噴水前
コース	市役所周辺(5～7km)	立沢公園周辺(5～7km)

※雨天中止 (前日午前中に会のホームページ及び電話にて連絡)

- 対象 市内在住・在勤の方、障がいのある方もサポーター同伴で参加可
- 参加費 無料 ●定員 先着20人
- 主催 健幸ウォーキングもりや
- 申込方法 7月15日(金)以降に市民活動支援センターに電話で申し込むまたは会のホームページから申し込む
※各コース実施日の1週間前まで



登録団体活動情報 7月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

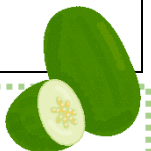
団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日(第5金曜日は休み) 10:00～12:00	川畑 090-6500-0266
もりや花のまちづくり 守谷駅西口花壇の整備	守谷駅西口花壇	最終(月) 9:00～11:00	山口 090-2742-2619
大柏里山の会 谷津田の草刈り、ゴミの回収作業	大柏下ケ戸(元はるにわカフェ前)	第2(日) 9:00～11:00	高木 090-1268-0269
立沢里山の会 里山整備	立沢里山	第3(土) 9:00～12:00	市民活動支援センター
守谷傾聴ボランティア・ジャスミン	守谷市民活動支援センター 喜楽荘 郷州公民館(調理室)	最終(木) 15:00～17:00 第1・3(水) 13:00～15:00 第1・3(木) 14:00～16:00	河合 48-3785

助成金情報 *内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

社会教育 地域活動	～7/29 いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」 https://challenge-ibaraki.jp/ チャレンジいばらき県民運動
地域活動 まちづくり	～7/31 2022年度くらし活動助成金 https://www.palsystem-ibaraki.coop/ 生活協同組合パルシステム茨城 栃木 くらし活動助成基金事務局
環境 社会教育	～7/31「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」 https://holdings.panasonic.jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf/npn_summary.html Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs

編集後記

7月は冬瓜(とうがん)が旬です。夏の野菜なのに「冬」と名前がついているのは、皮が分厚いため夏に収穫したものが冬まで保管できるという由来からです。冬瓜は、95%が水分で、低カロリー。カリウムが豊富に含まれていて、高血圧やむくみの解消に効果があるといわれています。また、ビタミンCも含んでいるので肌の健康や、ストレスや風邪などの抵抗力を強める効果も期待できます。涼しげな見た目とさっぱりとした味が、夏にぴったりの野菜です。さまざまな調理法を試してみたいかがでしょうか。





こんにちは！守谷のボランティアさん

～もりやこども服リサイクルの会「くるくる」の活動取材しました～

@市民活動支援センター

■もりやこども服リサイクルの会「くるくる」とは ※以下「くるくる」

服のリサイクルを通じて、子育てしやすい環境づくり、子育てをする人同士が交流することの支援をしている団体です。



「くるくる」では、着られなくなったこども服を持ち込み（1人10点まで持ち込み可能）、それと同数の洋服と交換できます。持ち込む服がない人でも運営協力費300円を払えば5点まで持ち帰ることもできます。

参加したママたちからは、「子ども服は汚したり、サイズアウトするのも早いので、いろんな方の洋服をまわしてもらって助かってます。」や「自分も寄付しながら、他の方に利用していただけるのはとても嬉しいです。」といった声があがっています。

しかしながらコロナ禍になってからの開催は、予約制となり例年の半分になってしまいました。

また開催が少なくなったもうひとつの理由として、スタッフの人材不足。人がいれば、毎月開催することもできるのに…と話されていました。

そういった中でも、スタッフの方の声かけやSNS等の発信で6月に開催した「くるくる」は、大人子どもを合わせて32名の方が参加。イベントの必要性を感じました。

■今後の活動についてお話を聞きました

「くるくる」は皆さんと一緒に作りあげていき、これからも長く守谷に根付いていけるような活動にしていきたいです。」とおっしゃる代表の佐藤さん。

今後は「こども服だけではなく、妊婦さんの服（マタニティウェアなど）も出してほしい」「経済的にも助かる」といった声や、リサイクル会なので、残った服をリメイクできないかなど、そういったことをプロジェクトできる人材も増やしていきたいです。

また交流会を開催しながら、「くるくる」の活動や子育てのことなど気軽にお話できる場を設けていきます。

課題は、スタッフが少なく、円滑な「くるくる」の開催が難しくなっていることです。

この活動に賛同できる方を募集しています。

参加された方には5点までのお持ち帰りOK!といった「ボランティア特典」があります！

CO₂など温室効果ガスの排出量削減のため、生活の中であらゆる賢い選択をしていこうとの取り組みを勧めている昨今、「くるくる」さんは使用済みの製品をゴミにせず繰り返し使うという素晴らしい取り組みをされています。

これからも私たちは子育てしやすい環境づくり、子育てをする、交流することの支援していきたいです。



スタッフの（左から）東さん、佐藤さん、藤井さん